

## 「住吉の語り部となりたい」 シリーズ第21回

料亭つたも主人・深田正雄

2012年12月24日

### 深田正雄の広小路ものがたり

1660年万治の大火後、それまでの堀切筋を防火帯として広く整備したのが広小路である。この時は、久屋町筋一長者町筋間、即ち本町通の1本西の筋までであった。明治政府となりそこから西は、1886年に笹島の名古屋停車場開設にあわせて拡幅したとされている。そして、南武平町ロータリー（現中区役所北）中央には日清戦争戦没者記念碑、本町交差点には日露戦争凱旋門が建てられました。記念碑は日泰寺建立にともない移転し現存、凱旋門は数年で取り壊されたと聞いています。（巻末・写真参照）

第二次大戦の空襲で広小路は丸焼け、躯体の残った鉄筋ビルは全て進駐軍に接收、アメリカ村開設に伴い広小路はジープの行きかう軍用道路となりました。

今回はアメリカ村を北廻りで仲ノ町・栄小学校に通学した昭和30年頃の思い出をお伝えしたいと思います。朝の登校は町内分団（住吉町と南呉服町）で20名弱がアメリカ村を北廻りで通学、時にはゲートの米兵からチョコレートをもらって喜んでおりました。下校はバラバラで、仲間と毎日、楽しい広小路を徘徊？トムソーヤの冒険さながらの思い出を紹介してまいりましょう。

小学校の北、広小路朝日新聞のビル1階には進駐軍専用公設モール・PXでは、ハイカラ品ばかりで何故か四角台形のコーンビーフ缶が懐かしく思われます。

そして、名宝会館を代表に多くの映画館が軒を連ねていました。特に大空中劇場スカラ座はビルの7階にあり、満席の銀幕終了後、金網の非常階段で広小路に降りたのが記憶に残ります。向かいには名古屋観光ホテル、当時はGHQ接收解除（1956年）営業再開したばかりでロビーの電話がゼロ発信で無料！よくイタズラ電話で遊んでおりました。電話・テレビが貴重で正雄君のお家（店）には両方あるのが自慢でしたね。

なんといってもチンチン電車と屋台は名物！粹な街路樹「しだれ柳」と間口一間少々の屋台が栄まで300軒以上もあったようです。この数ある屋台では同級生家族やら蔦茂の関連も多く、夕刻の開業準備前に幅広いメニューを試食しながら「戦後の名古屋めし」を満喫して栄まで興奮の学校帰りといえました。あの「どて焼き」や「みたらし団子」味をもう一度トライするのが夢のようです。

その後、市電は1971年に、屋台は1973年に廃止、平成になったら柳がケヤキに替わり歩道も1mほど拡幅されたとのことですが、通りは金融街となり人々の情緒が失われ人通りも少なく寂しくなりました。

本町北西角、GHQ本部黒いレンガ・旧大和生命ビル入口には衛兵が両側に二人、いつものように正雄君は「笑顔でハロー！」と手を出しましたが、ここではスマイルだけでチョコレートはもらえませんでした。

東海銀行本店東の「ペコちゃん、ポコちゃんの不二家」美味しかったシュークリーム、エクレアの味は格別でした。確か1ヶ25円、住吉の戸田屋・うどん一杯と同価格、入り口のケーキ売場の奥はレストラン併設、母親と食べたハンバーグ定食120円也が感激の一時でした。

南側にはゆとりある「広小路劇場」で西部劇の古典的名作「駅馬車」(ジョンフォード監督・ジョンウェインとのゴールドエンコンビ)のロングラン興行、前庭での釣堀、お洒落な鏡張り壁のカウンター喫茶店CA、舶来物宝飾ヤマダ時計店・・・素敵なデートスポットでした。

いつも賑わう赤玉パチンコ、キャバレー赤玉を過ぎると、車道側の屋台と並んで、電報局前広場では、対面の朝日神社に対抗したのか「文鳥の占い」でびよんびよんと小さな神殿からお御籤を引く可愛い小鳥、掛け声いっぱい「詰め将棋」勝てばなんと現金1000円??とか?そして、義足の傷痍軍人が白衣をまとしてアコーディオンを奏でる様子が今も思い浮かびます。

そして、僕は栄のディズニーワールド「丸栄百貨店」屋上遊園地?へ向かいます。

今回はデパートでの興奮の日々を語りましょう。お楽しみに!

**Have a Happy Christmas Season!!**



1966年(昭和41年)5月16日 広小路通の屋台: 中日新聞フォトサービスより



栄から東を見る。左側が日銀名古屋支店、右側がイトウ呉服店。先に日清戦争戦没者記念碑が見える。



広小路本町の交差点の西側には、日露戦争凱旋門が建てられた。広小路をまたいで建てられた。徳川義礼の書で「凱旋門」と書かれていた。名古屋城の第3師団は明治39年に凱旋。